前ページへ

お問い合わせの際、ご確認、ご用意いただく情報が記載されております。
必ずご確認ください。

よくあるお問い合わせ、窓口受付時間などはホームページをご活用ください。

http://www.sony.jp/support/

使い方相談窓口	フリーダイヤル……0120-333-020 携帯電話・PHS・一部のIP電話‥0466-31-2511
修理相談窓口	フリーダイヤル……0120-222-330 携帯電話・PHS・一部のIP電話‥0466-31-2531 ※取扱説明書・リモコン等の購入相談はこちらへお問い合わせください。

左記番号へ接続後、最初のガイダンスが流れている間に
「301」+「#」
を押してください。直接、担当窓口へおつなぎします。

FAX（共通） 0120-333-389

ソニー株式会社　〒108-0075 東京都港区港南1-7-1

4-472-597-**01**(1)

©2013 Sony Corporation Printed in Malaysia

* 4 4 7 2 5 9 7 0 1 * (1)

SONY

デジタルメディアプレーヤー

取扱説明書

準備する
基本的な使いかた
ワイヤレス機能を使う
Google アカウントを使う
その他
困ったときは

WALKMAN®

インターネット上でヘルプガイドが閲覧できます（パソコン・スマートフォン用）。閲覧は無料ですが契約プランによっては通信料がかかります。
http://rd1.sony.net/help/dmp/nwf880/ja/

NW-F885/F886/F887

⚠警告 安全のために （☞ 35 ～ 40 ページもあわせてお読みください。）

電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故の原因となります。
事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。
「取扱説明書」と「ヘルプガイド」には、事故を防ぐための重要な注意事項と本製品の取り扱いかたを示しています。
よくお読みのうえ、本製品を安全にご使用ください。
お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

安全のための注意事項を守る

「取扱説明書」と「ヘルプガイド」の注意事項をよくお読みください。
「取扱説明書」は、安全上の注意事項を記載しています。今回お買い上げの機器には当てはまらない内容も含まれています。

定期的に点検する

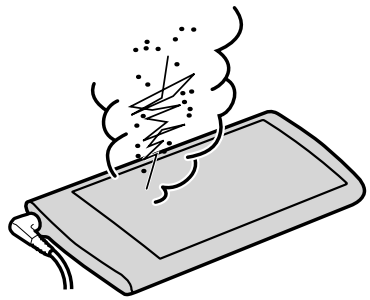
コネクタなどにほこりがたまっていないか、故障したまま使用していないか、
イヤーピースがヘッドホンにしっかり取り付いているかなどを点検してください。

故障したら使わない

動作がおかしくなったり、本製品が破損しているのに気づいたら、すぐにお買い上げ店または
ソニーサービスステーションに修理をご依頼ください。

万一、異常が起きたら

①パソコンと接続している場合は、USBケーブルまたはUSB端子を抜く。
②お買い上げ店またはソニーサービスステーションに修理を依頼する。



警告表示の意味

取扱説明書および本製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠危険 この表示の注意事項を守らないと、火災·感電·破裂などにより死亡や大けがなどの人身事故が生じます。

⚠警告 この表示の注意事項を守らないと、火災·感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。

⚠注意 この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号

行為を禁止する記号

行為を指示する記号

マニュアルについて

“ウォークマン”には下記のマニュアル類が用意されています。説明の際に使用している画面は、実際の画面と異なる場合があります。

クイックスタートガイド、取扱説明書など

■クイックスタートガイド　“ウォークマン”の設定

はじめにお読みください。
電源を入れて使い始めるまでの操作が記載されています。
Wi-Fi接続やGoogle™ アカウント取得方法なども記載されています。

■音楽を楽しむ

Media GoやContent Transferをパソコンにインストールする方法や、音楽をパソコンに取り込む方法、音楽を”ウォークマン”に転送する方法などが記載されています。

■オーディオ機器などからの録音

ラジカセなどから直接曲を取り込むまでの一連の流れが記載されています。

■ワイヤレスリスニングを楽しむ

“ウォークマン”をBluetoothオーディオ機器と接続して使う基本的な操作が記載されています。

■取扱説明書(本書)

“ウォークマン”の基本的な操作のしかた、ご注意などが記載されています。

ヘルプガイド(電子マニュアル)

ヘルプガイドはインターネット上で公開しています。
ヘルプガイドには“ウォークマン”を楽しむための情報や、困ったときの対処方法、主な仕様、パソコンの動作環境などが記載されています。

■“ウォークマン”本体で見るには

準備:

“ウォークマン”をインターネットに接続します。

1 ホーム画面で をタップし、アプリ一覧を表示します。

2 右から左にフリックして探してください。

3 (ヘルプガイド)アイコンをタップするとヘルプガイドが表示されます。

■ヘルプガイドをパソコンで見るには

準備:

WALKMAN Guideをパソコンにインストールします。

インストール方法⇒ 別紙「音楽を楽しむ」をご覧ください。

1 パソコンのデスクトップの (WALKMAN Guide)アイコンをダブルクリックします。

2 ヘルプガイドをクリックして開きます。

下記からも使いかたを調べることができます。

「Media Go」のヘルプ

Windowsパソコンにインストールした「Media Go」の使いかたについて詳しく記載しています。
インストール方法 ⇒ 別紙「音楽を楽しむ」

「Content Transfer」のヘルプ

Macパソコンにインストールした「Content Transfer」の使いかたについて詳しく記載しています。
インストール方法 ⇒ 別紙「音楽を楽しむ」

“ウォークマン”カスタマーサポートのホームページ

トラブルの解決方法や接続機器の互換性情報、最新情報を掲載しています（http://www.sony.co.jp/walkman-support/）。

目次

はじめに 4
マニュアルについて 4
準備する 11
同梱品を確かめる 11
ヘッドホンのイヤーピースを交換する 12
充電する 13
充電についてのご注意 14
“ウォークマン”の初期設定をする 16
音楽再生の準備をする 17
基本的な使いかた 18
各部の名前 18
電源を入れる 22
電源を切る 23
画面をオン／オフする 24
タッチパネルを使う 25
基本的な操作キーについて 27

ホーム画面を使う 28
設定画面を起動する 30
ワイヤレス機能を使う 31
Wi-Fi接続する 31
Bluetooth接続する 32
NFC機能を使う 33
Google アカウントを使う 34
Google アカウントを設定する 34
その他 35
安全のために 35
使用上のご注意 41
本製品を廃棄するときのご注意 46
お手入れ 46
ライセンスおよび商標について 47

困ったときは 49
困ったときは 49
症状から調べる 50
初期化する 53
保証書とアフターサービス 54
主な仕様 56
索引 69
お問い合わせの前に 70
お問い合わせ窓口のご案内 71

同梱品を確かめる

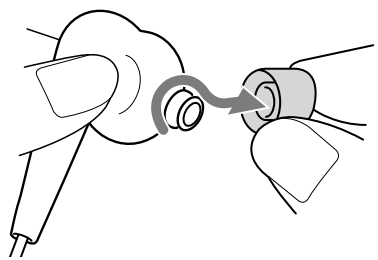
- □ “ウォークマン”本体(1)
- □ ヘッドホン(1)
- □ イヤーピース(各サイズ2個1組)
- □ WM-PORTキャップ(1)
  お買い上げ時はヘッドホンに装着されています。
- □ USBケーブル(1)
- □ 取扱説明書(本書)(1)
- □ クイックスタートガイド“ウォークマン”の設定(1)
- □ 音楽を楽しむ(1)
- □ ワイヤレスリスニングを楽しむ(1)
- □ オーディオ機器などからの録音(1)
- □ 保証書(1)
- □ 製品登録のお願い(1)

ヘッドホンのイヤーピースを交換する

より良い音質を楽しんでいただくために、最も耳にフィットするサイズのイヤーピースに交換してください。

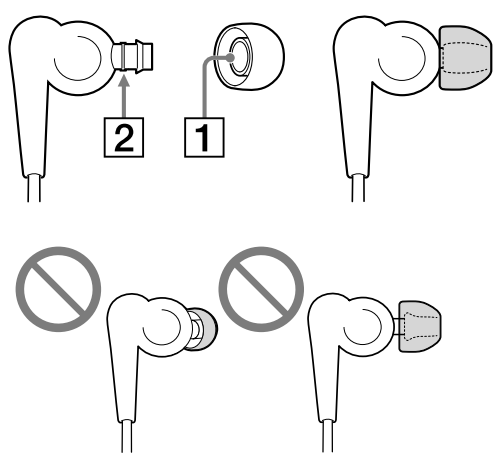
1 ヘッドホンを押さえた状態で、イヤーピースをねじりながら引き抜く。

イヤーピースが滑って外れない場合は、乾いた柔らかい布でくるむと外れやすくなります。



2 新しいイヤーピースをヘッドホンに取り付ける。

イヤーピースの着色部分の先端(1)が、ヘッドホンの突起部分にある(2)の位置にくるまで押し込んでください。
イヤーピースが外れて耳に残らないよう、ヘッドホンにしっかり取り付けてください。



ヒント

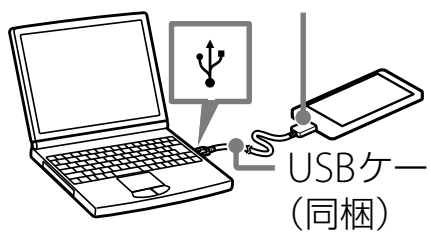
イヤーピースが破損した場合は、別売のイヤーピースをご購入ください。

充電する

“ウォークマン”をパソコンと接続して、充電します。

1 同梱のUSBケーブルを使って、起動しているパソコンに“ウォークマン”を接続する。

USBケーブルのコネクターは、を上にして“ウォークマン”に差し込みます。

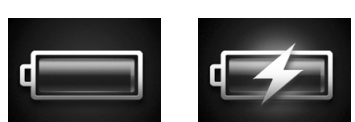


ヒント

- “ウォークマン”に対応している別売のACアダプター(AC-NWUM60など)を使って充電することもできます。
- はじめてお使いになる場合や、しばらくお使いにならなかった場合は、満充電になるまで充電することをおすすめします。

ご注意

- 充電中に大きな電池マークが表示された場合は、内蔵電池の残量が不足しているため操作できません。約10分充電を続けると、“ウォークマン”は自動的に起動します。
- 充電中や、充電しながらのアプリの実行中など、ご使用状況によって本体が温かくなることがありますが、故障ではありません。



充電についてのご注意

充電するときの注意点について説明します。

- 充電時間は電池の使用状態により異なります。
- 電池を充分に充電しても使える時間が通常の半分くらいになったときは、電池が劣化している可能性があります。ソニーの相談窓口へお問い合わせください。
- “ウォークマン”を長期間使わないで充電した場合、“ウォークマン”がパソコンに認識されなかったり、画面に何も表示されないことがあります。その場合は、“ウォークマン”を約10分充電すれば正常に動作します。
- 周囲の温度が5 ℃～ 35 ℃の環境で充電してください。
- 電池を使いきった状態から充電が可能な回数の目安は500回です。ただし、使用条件により異なります。
- “ウォークマン”を長期間使わない場合でも、半年から1年ごとに充電するようにしてください。
- 自作のパソコンや改造したパソコンでの充電は保証できません。
- USBハブにて拡張されたUSBポートは、ロゴ認証を取得したセルフパワーのUSBハブ以外での動作の保証はいたしません。
- 電源を接続していないノートパソコンと“ウォークマン”を接続した場合、ノートパソコンの電池が消耗します。電源を接続していないノートパソコンと“ウォークマン”を接続したまま長時間放置しないでください。

- “ウォークマン”をUSBケーブルでパソコンと接続したまま、パソコンの起動、再起動、スリープモードからの復帰、終了操作を行わないでください。“ウォークマン”が正常に動作しなくなることがあります。これらの操作は、パソコンから“ウォークマン”を取りはずしてから行ってください。
- 充電中や、充電しながらのアプリの実行中など、ご使用状況によって本体が温かくなることがありますが、故障ではありません。
- 電池残量表示の目盛りは等分ではありません。電池残量の目安としてご利用ください。

“ウォークマン”の初期設定をする

“ウォークマン”の初期設定方法について詳しくは、別紙「クイックスタートガイド“ウォークマン”の設定」をご覧ください。

音楽再生の準備をする

パソコンにソフトウェアをインストールして、音楽を再生する準備をします。
インストール方法について詳しくは、別紙「音楽を楽しむ」をご覧ください。

ご注意

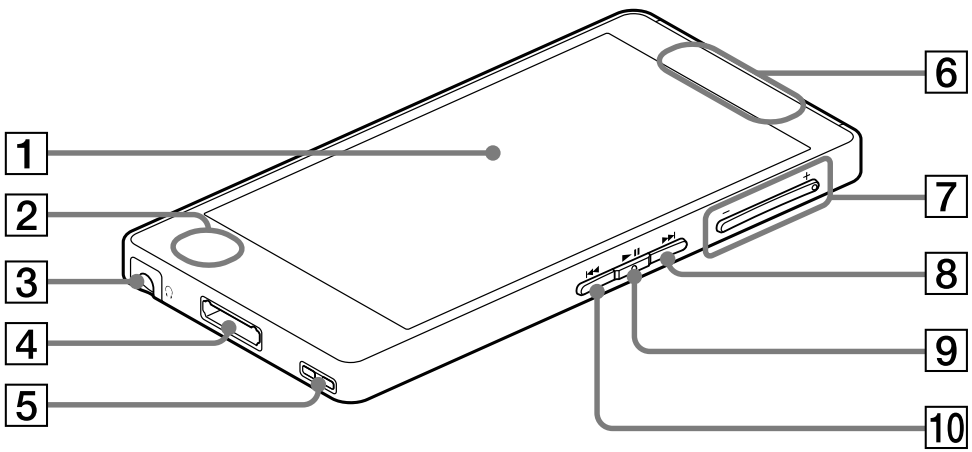
- インストールの前に、ソフトウェアの動作環境について確認してください。動作環境については、「主な仕様」をご確認ください。

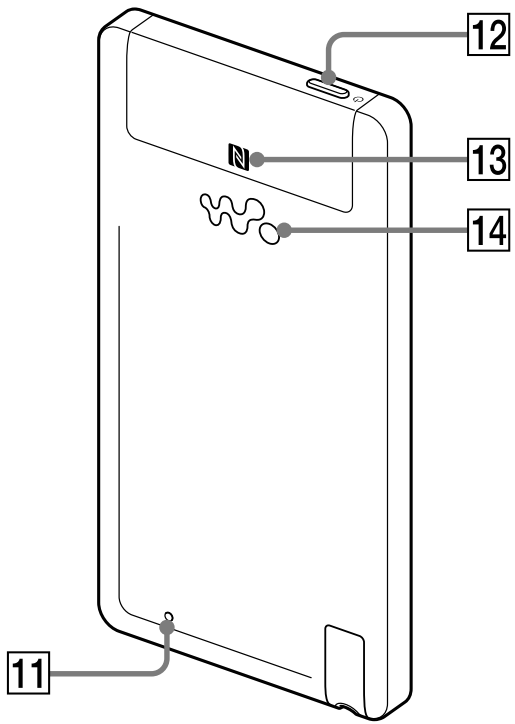
ヒント

- OSやService Packの確認方法につきましては、ご使用のパソコンメーカーにお問い合わせください。

各部の名前

本体のボタンやジャック、その他の機能について説明します。





ノイズキャンセリング機能について

ノイズキャンセリング機能は同梱のヘッドホンおよび“ウォークマン”に対応した別売のノイズキャンセルヘッドホンを使用したときのみ有効です。なお、同梱のヘッドホンは専用ヘッドホンのため、“ウォークマン”以外の機器には使用することができません。

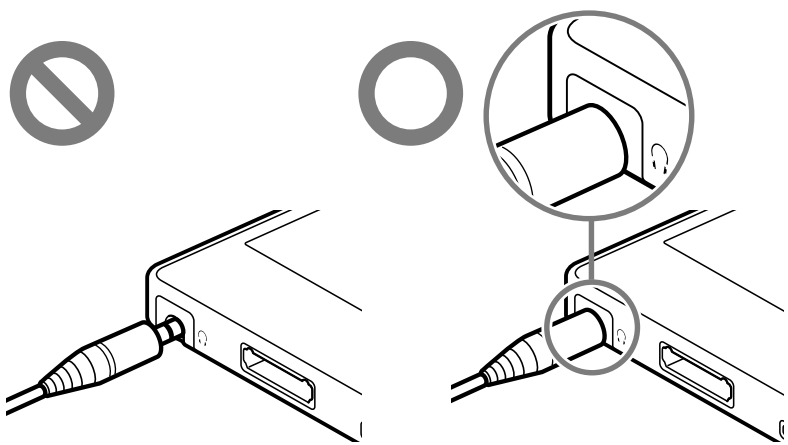
1 画面(タッチパネル)

画面(タッチパネル)上に表示されるアイコンや項目などを指で軽くタッチ(タップ)して、“ウォークマン”を操作できます。

2 内蔵マイク

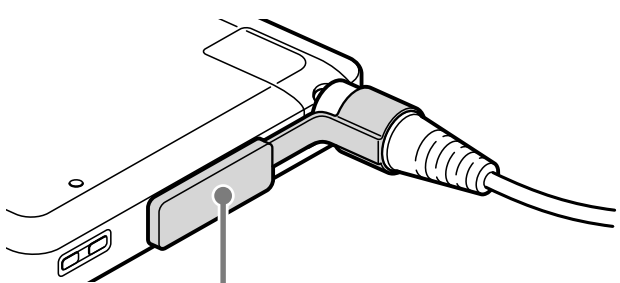
3 ヘッドホンジャック

ヘッドホンを接続します。奥まで「カチッ」と音がするまで差し込んでください。ヘッドホンが正しく接続されていないと、音が正常に聞こえません。
また、Bluetooth接続中は、ヘッドホンジャックにヘッドホンを接続しても音は出ません。
Bluetooth接続を切断してください。



4 WM-PORT(ダブリューエムポート)ジャック

同梱のUSBケーブルや、別売のWM-PORT対応のアクセサリーを接続できます。
使用しないときは、同梱のWM-PORTキャップを差し込んで、水やほこりが入らないようにしてください。



5 ストラップ取り付け口

ストラップ(別売)を取り付けます。

6 内蔵アンテナ

Wi-Fi、Bluetooth、GPSのアンテナが内蔵されています。

7 VOL(ボリューム)+/−ボタン

+ボタンには、凸点(突起)がついています。操作の目印としてお使いください。

8 ▶▶Iボタン

音楽の次の曲、またはビデオの次のチャプター/5分後の場面を頭出しします。
長押しすると、早送りします。

9 ▶IIボタン

音楽・ビデオを再生/一時停止します。

10 I◀◀ボタン

音楽の前(または再生中)の曲、またはビデオの前のチャプター/5分前の場面を頭出しします。
長押しすると、早戻しします。

11 RESET(リセット)ボタン

ペンやクリップなどの先の細いものでRESET(リセット)ボタンを押すと、“ウォークマン”をリセットできます(☞ 49 ページ)。

12 ⏻(電源)ボタン／画面ロックボタン

電源を入れるときは短く押し、電源を切るときは長押しします。画面をオン／オフするときは短く押します。

ご注意

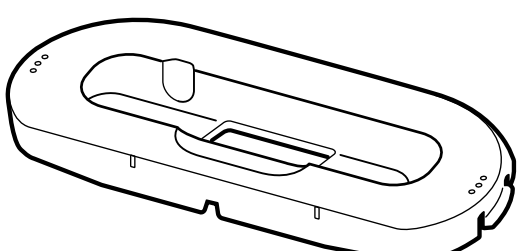
⏻(電源)ボタンを約8秒押し続けると、“ウォークマン”はリセットされます。

13 Nマーク

NFC機能があるBluetooth機器をここにタッチして接続します。

14 スピーカー

“ウォークマン”をクレードルなどのアクセサリー(別売)に取り付けるときにアタッチメントが必要な場合があります。アクセサリーに同梱されているアタッチメントは使用できませんので、修理相談窓口にお問い合わせください。



電源を入れる

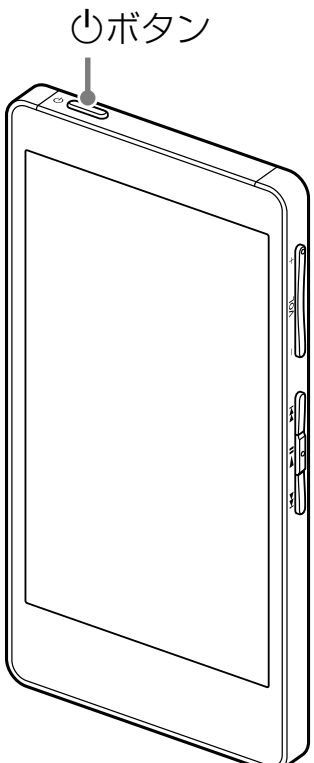
電源を入れて、“ウォークマン”を起動します。

1 ⏻ボタンを押す。

起動時“ウォークマン”はロックされており、電源を入れるとロック解除画面が表示されます。

2 にタッチし、そのまま指を左から右へ動かす。

ロックが解除され、ホーム画面が表示されます。



ヒント

- USBケーブルを接続して、充電を開始すると“ウォークマン”は自動的に起動します。
- USB接続画面が表示された場合は、⮌をタップするとホーム画面に戻ります。

電源を切る

“ウォークマン”を長期間ご使用にならない場合は、電源を切ります。

1 ⏻**ボタンを長押しする。**

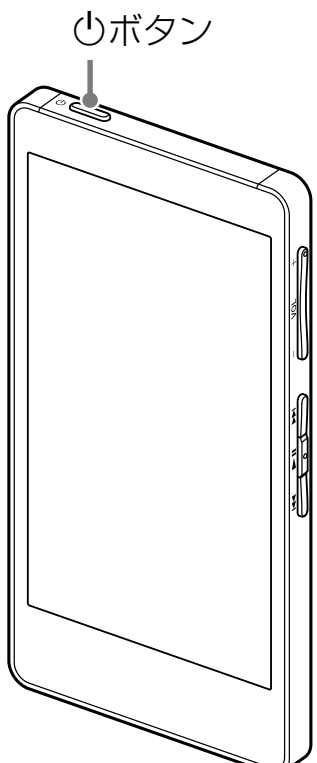
2 **[電源を切る]-[OK]をタップする。**
電源が切れます。

画面をオン／オフする

“ウォークマン”を操作しないときは、画面をオフにして、タッチパネルの誤動作を防止することができます。

1 ⏻ボタンを押す。

画面がオフになります。もう一度押すとオンになります。



ヒント

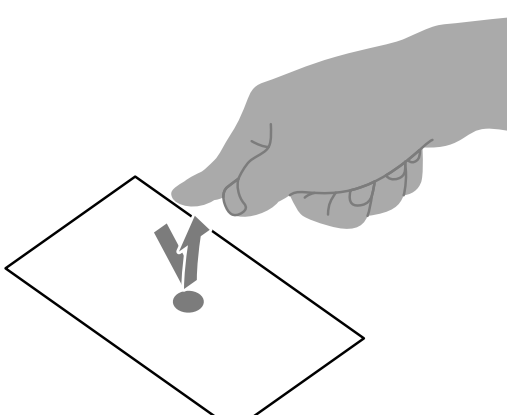
- お買い上げ時の設定では、一定時間が経過すると自動的に画面がオフになります。自動的に画面がオフになるまでの時間を設定することができます。
- 画面をオンにしたときは、ロック解除画面が表示されます。🔒にタッチし、そのまま指を左から右へ動かしてロックを解除してください。

タッチパネルを使う

“ウォークマン”のディスプレイはタッチパネルになっており、指で直接触れて操作します。基本的な操作には、以下のような種類があります。

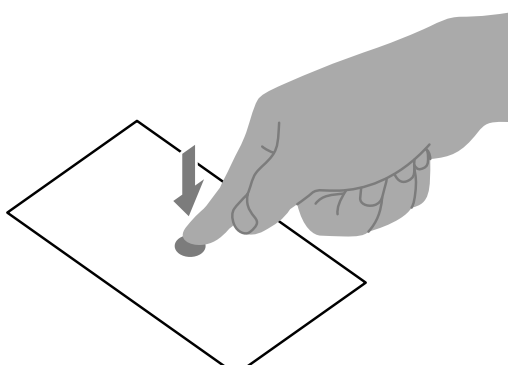
タップ

アイコンやメニューなどの項目に指で軽く触れ、すぐに離します。
続けて2回すばやくタップすることを、ダブルタップといいます。



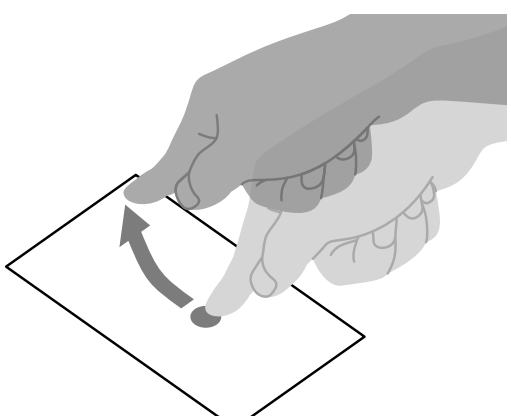
長押し

アイコンやメニューなどの項目を、押し続けます。



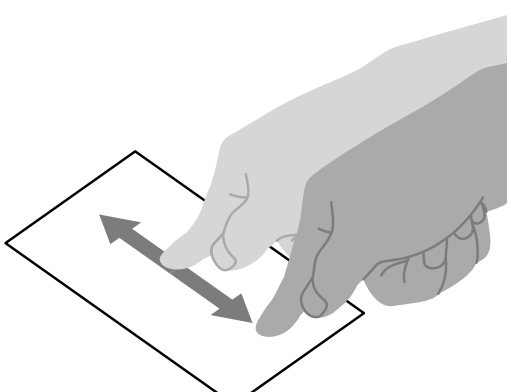
フリック

タッチパネルを指で軽くはらうようにします。
画面を切り換えたり、すばやくスクロールしたりします。



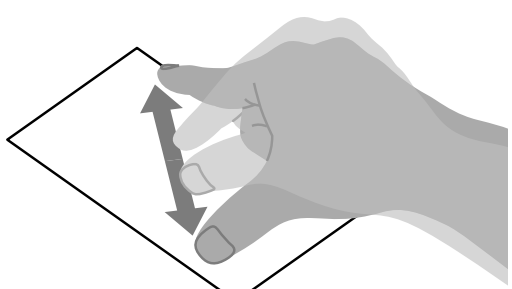
ドラッグ

タッチパネルに触れたまま目的の位置までなぞり、指を離します。
アイコンなどを移動したり、画面をスクロールしたりします。



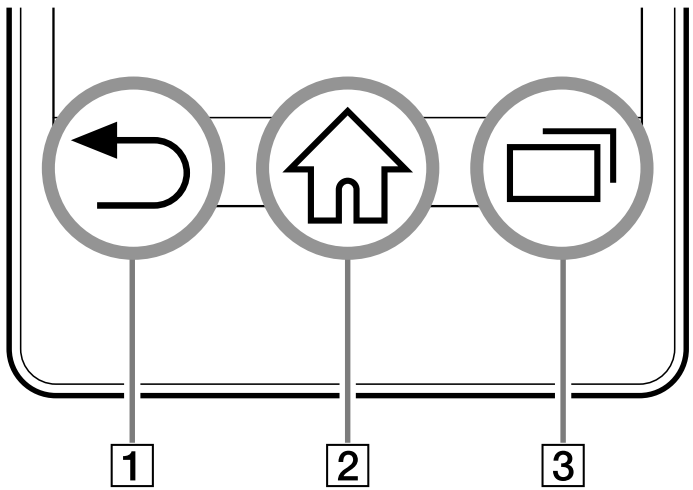
ピンチイン／ピンチアウト

2本の指でタッチパネルに触れ、指の間隔を開いたり（ピンチアウト）、閉じたり（ピンチイン）します。一部の画面では、ピンチアウトするとズームインし、ピンチインするとズームアウトします。



基本的な操作キーについて

“ウォークマン”画面下部の基本的な操作キーについて説明します。



1 ⮌(バック)

- 前の画面に戻ります。
- ダイアログボックス、オプションメニューなどを閉じます。
- 画面にキーボードが表示されている場合は、キーボードを閉じます。

2 ⌂(ホーム)

- ホーム画面に戻ります。

3 ▭(最近使用したアプリケーション)

- 最近使用したアプリケーションをサムネイルで一覧表示します。

ホーム画面を使う

ホーム画面には、アプリケーションのウィジェットやショートカット、フォルダーなどが表示されます。

ヒント

- “ウォークマン”の画面に何も表示されていない場合や、ホーム画面以外が表示されている場合は、画面をオン(☞ 24 ページ)にして、⌂(☞ 27 ページ)をタップするとホーム画面を表示できます。

1 W.ミュージックウィジェット

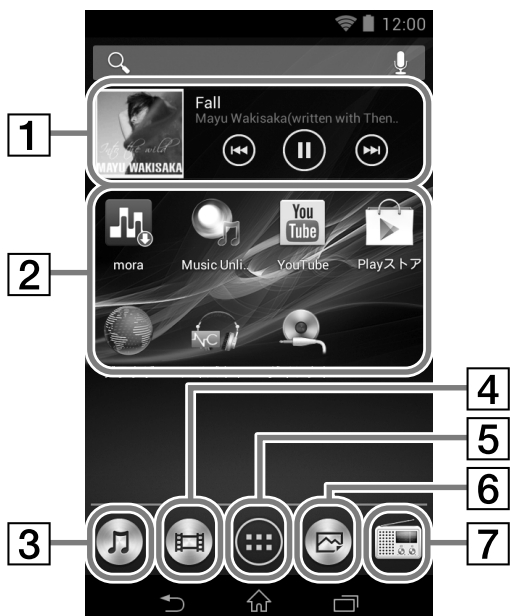
音楽の再生を操作できます。

2 アプリケーションへのショートカット

各アプリケーションが起動します。

3 W.ミュージックへのショートカット

W.ミュージックが起動します。



4 ビデオプレーヤーへのショートカット
ビデオプレーヤーが起動します。

5 Apps
アプリケーションとウィジェットを表示します。

6 フォトビューワーへのショートカット
フォトビューワーが起動します。

7 FMラジオへのショートカット
FMラジオが起動します。

設定画面を起動する

設定画面から各種の設定を行うことができます。

1 ホーム画面を左にフリックして画面を切り換える。

2 [設定]をタップする。
設定画面が起動します。

3 設定したい項目をタップする。

ご注意

[設定]アイコンの位置は、右の画面と違うことがあります。

Wi-Fi接続する

“ウォークマン”は、Wi-Fi*のロゴが付いた無線LANルーターに接続したり、公衆無線LANサービスを利用したりすることができます。
Wi-Fiを使って“ウォークマン”でインターネットを楽しんだりすることができます。

* Wi-Fiとは、無線LAN機器の互換性を認証されたことを示す名称です。

無線LAN機器との接続方法について詳しくは、別紙「クイックスタートガイド　“ウォークマン”の設定」を参照してください。
公衆無線LANサービスについて詳しくは、サービス提供元にお問い合わせください。

Bluetooth接続する

Bluetooth機能を使って“ウォークマン”とBluetoothオーディオ機器(ヘッドホン、スピーカーなど)を接続すると、ワイヤレスで音楽を楽しむことができます。
また、他のBluetooth機器とコンテンツのやりとりができます。

Bluetooth接続について詳しくは、別紙「ワイヤレスリスニングを楽しむ」を参照してください。

NFC機能を使う

NFC機能とは、携帯電話やICタグなど、さまざまな機器間で近距離無線通信を行うための機能です。指定の場所に「タッチするだけ」で、簡単にデータ通信ができます。
接続したいNFC機能搭載Bluetooth機器に“ウォークマン”をタッチするだけで、Bluetoothのペアリングと接続が行われます。
Bluetooth接続の解除や切り替えもワンタッチで行うことができます。

NFC機能について詳しくは、別紙「ワイヤレスリスニングを楽しむ」を参照してください。

Google アカウントを設定する

Google アカウントを設定すると、Gmail™ 、Google Play™ などのGoogle のサービスを利用できます。複数のアカウントを“ウォークマン”に登録できます。

接続方法について詳しくは、別紙「クイックスタートガイド　“ウォークマン”の設定」を参照してください。

安全のために

危険

下記の注意事項を守らないと、火災・感電・破裂などにより死亡や大けがなどの人身事故が生じます。

火の中に入れない。

火のそばや炎天下などで充電したり、放置しない。

本製品の各端子のそばにコイン、キー、ネックレスなどの金属類を置かない。

本製品の端子が金属とつながるとショートし、発熱することがあります。

⚠警告

火災　感電

下記の注意事項を守らないと火災・感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。

充電式電池が液漏れしたときは

充電式電池の液が漏れたときは素手で液を触らない。

液が本製品内部に残ることがあるため、ソニーの相談窓口にご相談ください。
液が目に入ったときは、失明の原因になることがあるので目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で充分洗い、ただちに医師の治療を受けてください。液が身体や衣服についたときも、やけどやけがの原因になるので、すぐにきれいな水で洗い流し、皮膚に炎症やけがの症状があるときには医師に相談してください。

運転中は使用しない。

自動車、オートバイ、自転車などの運転をしながらヘッドホンやイヤホンなどを使用したり、細かい操作をしたり、表示画面を見ることは絶対におやめください。交通事故の原因になります。

周囲の音が聞こえないと危険な場所では使用しない。

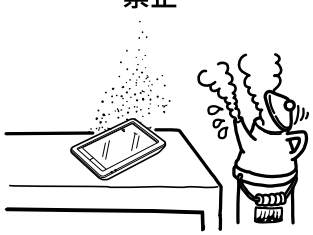
踏切りや駅のホーム、車の通る道、工場現場などでは、周囲の音が聞こえないと危険です。
そのような場所では使用しないでください。
事故やけがの原因となります。

内部に水や異物を入れない。

水や異物が入ると火災や感電の原因になります。
万一、水や異物が入ったときは、すぐに電源を切り、本製品に接続しているものをはずし、ソニーの相談窓口またはお買い上げ店にご相談ください。

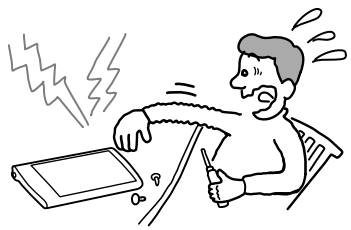
雨、水がかかる場所、油煙、湯気、湿気、ほこりの多い場所では使用しない。

上記のような場所で使用すると、火災や感電の原因となります。



分解や改造をしない。

火災や感電、事故の原因となります。
内部の点検や修理は、お買い上げ店またはソニーサービスステーションにご依頼ください。

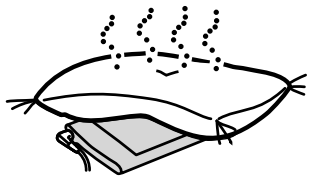


乳幼児の手の届かないところに置く。

イヤーピースなど小さな部品は飲み込む恐れがあるので、乳幼児の手の届くところに置かないでください。
万が一飲み込んだ場合は、窒息や胃などへの障害の原因になるため、ただちに医師にご相談ください。

本製品を布団などでおおった状態で使用しない。

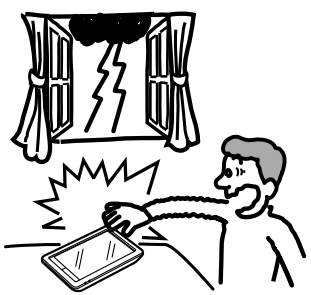
禁止



熱がこもってケースが変形したり、火災の原因となることがあります。

雷が鳴り出したら、本体やUSBケーブルに触れない。

禁止



感電の原因となることがあります。

⚠注意 下記の注意事項を守らないとけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

大音量で長時間続けて聞きすぎない。

禁止

耳を刺激するような大きな音で長時間続けて聞くと、聴力に影響を与えるおそれがあります。
特にヘッドホンで聞くときにはご注意ください。
呼びかけられて返事ができるくらいの音量で聞きましょう。

はじめからボリュームを上げすぎない。

突然大きな音がでて、耳をいためることがあります。
特にヘッドホンで聞くときにはご注意ください。
ボリュームは徐々に上げましょう。

肌に合わないと感じたときは使用しない。

肌に合わないと感じたときは早めに使用を中止して、医師またはソニーの相談窓口、お買い上げ店にご相談ください。

使用中に気分が悪くなった場合は使用を中止する。

本製品を使用中に気分が悪くなった場合は、すぐに使用を中止してください。

本製品を航空機内で使用する場合は、客室乗務員の指示に従う。

電波が影響を及ぼし、誤動作による事故の原因となるおそれがあります。

本製品を医療機器の近くで使用しない。

電波が心臓ペースメーカーや医療用電気機器に影響を与えるおそれがあります。
満員電車などの混雑した場所や医療機関の屋内では使用しないでください。

本製品を心臓ペースメーカーの装着部位から 22cm 以上離す。

電波によりペースメーカーの動作に影響を与えるおそれがあります。

本製品を自動ドア、火災報知器などの自動制御機器の近くでは使用しない。

電波が影響を及ぼし、誤動作による事故の原因となるおそれがあります。

本製品に強い衝撃を与えない。

本製品には強い衝撃や過度の力を与えないでください。
モデルによっては、画面表示部にガラス素材を採用しています。
欠けや割れが発生するとけがの原因になります。
その場合には直ちに使用を中止し、破損部には手を触れないようご注意ください。

不安定な場所に置かない。

ぐらついた台の上や傾いた場所などに置かないでください。
落下してけがの原因となることがあります。

本製品は、国内専用です。

海外では国によって電波使用制限があるため、本製品を使用した場合、罰せられることがあります。

使用上のご注意

無線LAN機能について

本製品内蔵の無線LAN機能はWFA（Wi-Fi Alliance）で規定された「Wi-Fi（ワイファイ）仕様」に適合していることが確認されています。

Wi-Fi機能についてのご注意

2.4 GHz帯と5 GHz帯のWi-Fi機能とは、周波数帯域が異なるため接続することはできません。

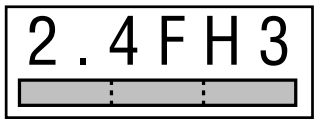
無線の周波数について

本製品が使用している周波数は、他の無線機器でも使用していることがあります。
他の無線機器との電波干渉を防止するため、下記事項に注意してご使用ください。

2.4 GHz機器使用上の注意事項

本製品の使用周波数は2.4 GHz帯です。この周波数帯では電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか、他の同種無線局、工場の製造ライン等で使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定の小電力無線局、アマチュア無線局等（以下「他の無線局」と略す）が運用されています。

1）本製品を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
2）万一、本製品と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合には、速やかに本製品の使用場所を変えるか、または本製品の運用を停止（電波の発射を停止）してください。
3）不明な点その他お困りのことが起きたときは、ソニーの相談窓口までお問い合わせください。



この無線製品は2.4 GHz帯を使用します。変調方式としてFH-SS変調方式を採用し、与干渉距離は30 mです。

この無線製品は2.4 GHz帯を使用します。変調方式としてDS-SS変調方式およびOFDM変調方式を採用し、与干渉距離は40 mです。

5 GHz機器使用上の注意事項

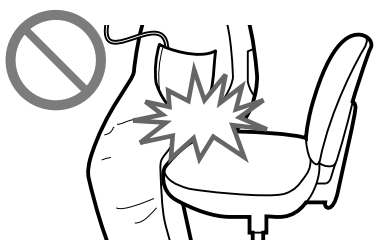
- 本製品が使用するチャンネルは以下の通りです。
  – W52（5.2 GHz帯/36、40、44、48ch）
  – W53（5.3 GHz帯/52、56、60、64ch）
  – W56（5.6 GHz帯/100、104、108、112、116、120、124、128、132、136、140ch）

IEEE802.11b/g/n			
IEEE802.11a/n			
~~J52~~	W52	W53	W56

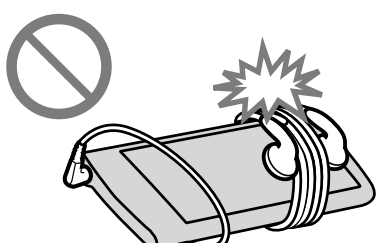
- 5 GHzワイヤレスLAN機器の屋外使用は法令により禁止されています。
  この内容は、本製品の画面上でも確認することができます。
  メニューの[設定]–[Wi-Fi設定]–[詳細設定]–[Wi-Fiの周波数帯域]

本製品の取り扱いについて

- 落としたり、重いものを乗せたり、強いショックを与えたり、圧力をかけないでください。本製品の故障の原因となります。
- 以下のような場所に置かないでください。
  - 直射日光があたる場所や暖房器具の近くなど温度が非常に高いところ
    変色したり、変形したり、故障したりすることがあります。
  - ダッシュボードや、炎天下で窓を閉め切った自動車内(とくに夏季)
  - ホコリの多いところ
  - ぐらついた台の上や傾いたところ
  - 振動の多いところ
  - 風呂場など、湿気の多いところ
  - 磁石、スピーカーボックス、テレビなど、磁気を帯びたものの近く
- ラジオやテレビの音に雑音が入るときは、本製品の電源を切って、本製品をラジオやテレビから離してください。
- 同梱のヘッドホンをご使用中、肌に合わないと感じたときは早めに使用を中止して医師またはソニーの相談窓口(☞ 裏表紙)に相談してください。
- 本製品をお使いになるときは、キャビネットの変形や故障を防ぐために、次のことを必ずお守りください。
  - 本製品をズボンなどの後ろのポケットに入れて座らない。



  - 本製品にヘッドホンを巻き付けたまま、かばんの中に入れ、外から大きな力を加えない。



- 水がかからないようご注意ください。本製品は防水仕様ではありません。特に以下の場合ご注意ください。
  - 洗面所などでポケットに入れての使用
    身体をかがめたときなどに落として水濡れの原因となる場合があります。

  - 雨や雪、湿度の多い場所での使用
  - 汗をかく状況での使用
    濡れた手で触ったり、汗をかいた衣服のポケットに入れると水濡れの原因となる場合があります。
- ヘッドホンを本製品からはずすときは、ヘッドホンのプラグを持ってはずしてください。コードを持って引っ張ると断線の原因となる場合があります。
- イヤーピースは長期の使用／保存により劣化する恐れがあります。
- ヘッドホンを付けたまま寝ないでください。寝ているあいだにヘッドホンのコードが首にからまり、窒息の原因となることがあります。

ご使用について

- 自動車、オートバイ、自転車などの運転をしながら使用しないでください。特にノイズキャンセリング機能は周囲の音を遮断しますので、警告音なども聞こえにくくなります。運転中以外でも、踏切や駅のホーム、車の通る道、工事現場など、周囲の音が聞こえないと危険な場所では使わないでください。
- ストラップ(別売)を付けてご使用する場合は、ストラップが引っかかると危険ですので、ご注意ください。また、振り回すと人にぶつかることもあり危険ですので、ご注意ください。
- 飛行機内で使用する際は、離着陸時など、機内のアナウンスに従ってご使用をお控えください。
- 耳に挿し込むタイプのヘッドホンは、イヤーピース部分の密閉度が高いため、イヤーピー

スが耳に強く押しこまれたり、急に外れたりすると、鼓膜などを傷めるおそれがあります。使用後は、ゆっくりと耳から取りはずしてください。

- 本製品を寒い場所から急に暖かいところに持ち込んだときや、冬の朝など暖房を入れたばかりの部屋などで、本製品の表面や内部に結露が生じることがあります。結露とは、空気中の水分が金属の板などに付着し、水滴となる現象です。結露が生じたときは、結露がなくなるまで電源を入れずに放置してください。そのままご使用になると故障の原因になります。
- Media Goの使用中(CD録音中、曲の取り込み中、本製品への転送処理中)にパソコンがスリープ／スタンバイ／休止状態へ移行すると、データが失われたり、Media Goが正常に復帰しない場合がありますのでご注意ください。

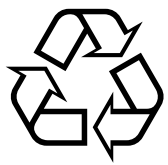
静電気に関するご注意

空気が乾燥する時期に耳にピリピリと痛みを感じることがありますが、これは本製品の故障ではなく人体に蓄積される静電気によるものです。静電気の発生しにくい天然素材の衣服を身に着けていただくことにより影響が軽減されます。

タッチパネルに関するご注意

液晶画面はガラスでできています。ガラスにひびが入るなど破損した場合は、タッチパネルに触れたり、ご自身で修理したりしないでください。落下や衝撃に弱いため、お取り扱いにご注意ください。お客様のお取り扱い不良による破損は、保証の対象外です。

本製品を廃棄するときのご注意



本製品に内蔵されている充電式電池はリサイクルできます。この充電式電池の取りはずしはお客様自身では行わず、「ソニーの相談窓口」にご相談ください。
（「ソニーの相談窓口」の連絡先は☞ 裏表紙に記載されています。）

お手入れ

本製品表面の汚れは

- 柔らかい布（市販のめがね拭きなど）で拭いてください。
- 汚れがひどいときは、薄い中性洗剤溶液をしめらせた布で拭いてください。
- シンナー、ベンジン、アルコールなどは表面の仕上げを傷めますので使わないでください。
- 内部に水が入らないようにご注意ください。

ヘッドホンプラグのお手入れについて

ヘッドホンプラグが汚れていると雑音や音飛びの原因になることがあります。常によい音でお聞きいただくために、ヘッドホンの先端のプラグ部をときどき柔らかい布で乾拭きしてください。

イヤーピースのお手入れについて

ヘッドホンからイヤーピースをはずし、うすめた中性洗剤で手洗いしてください。洗浄後は、水気をよく拭いてからご使用ください。

ライセンスおよび商標について

ご注意

この度は弊社デジタルメディアプレイヤー製品（以下「本製品」とします）をお買い上げいただきありがとうございます。本製品にはソフトウェア製品が同梱又はプリインストールされています。当該ソフトウェアをご使用いただく前に、必ず各々のソフトウェア使用許諾契約書をお読み下さい。ソフトウェア製品の中には、①各製品の権利者が定めるソフトウェア使用許諾契約書を伴うソフトウェア（以下「許諾対象外ソフトウェア」）と、②そのような個別のソフトウェア使用許諾契約を伴わないソフトウェアとがあります。個別のソフトウェア使用許諾契約書を伴わない各々のソフトウェア（以下「許諾ソフトウェア」とし、コンピューターソフトウェア、媒体、マニュアルなどの関連書類及び電子文書を含みます）に関しては、Apps画面から「設定」→「端末情報」の順にタップして「法的情報」の「ソフトウェア使用許諾契約書」をお読み下さい。

許諾対象外ソフトウェアについては、Apps画面から「設定」→「端末情報」の順にタップして「法的情報」の該当する項目をご確認ください。

この製品は “Embedded Memory with Playback and Recording Function System” （以下 “EMPR (*1)” ）規格に準拠して製造されています。コンテンツ保護方式として “MagicGate Type-R for Secure Video Recording for EMPR” を利用しています。

(*1) “EMPR” は、ソニー株式会社が開発した著作権保護に対応したシステムの規格名であり、“MagicGate Type-R for Secure Video Recording for EMPR” はDpa（社団法人 デジタル放送推進協会）からデジタル放送記録時のコンテンツ保護方式として認可を得ています。

- 商標権の帰属、法規などに関する情報は、ソフトウェアをインストールすると「重要なお知らせ」で確認できます。
- その他、本書で登場するシステム名、製品名は、一般に各開発メーカーの登録商標あるいは商標です。なお、本文中では™、®マークは明記していません。

困ったときは

「症状から調べる」(☞ 50 ページ)の各項目で調べる。

▼

“ウォークマン”本体のヘルプガイドで調べる。
機能や使いかたについての詳しい説明があります。

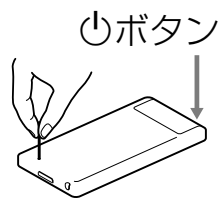
▼

充電する。
充電すると問題が解決することがあります。

▼

⏻ボタンを約8秒押し続けるか、ペンやクリップなどの細い棒でRESETボタンを押す。

本製品を安全にリセットするには、リセットする前に、曲やビデオなどが再生されていないことを確認してください。



パソコンを利用できる場合

- **ヘルプガイドで調べる(☞ 6 ページ)**
  機能や使いかたについての詳しい説明があります。
- **Media Goのヘルプで調べる**
  Media Goについての操作方法は、Media Goのヘルプで調べることができます。
- **「ウォークマン カスタマーサポート」のホームページで調べる(☞ 7 ページ)**
  インターネットに接続できる環境の場合、サポートホームページで最新情報を調べることができます。

上記を確認しても問題が解決しないときは、ソニーの相談窓口(☞ 裏表紙)またはお買い上げ店に相談する。

症状から調べる

ここに挙げられているケース以外で困った場合や、さらに詳細な情報については、“ウォークマン”本体やパソコンで見る「ヘルプガイド」をご覧ください。

“ウォークマン”の操作

Q “ウォークマン”が動作しない、または電源が入らない

- 電源が入っているか確認してください。入っていない場合は⏻ボタンを押してください。
- 結露している場合は、そのまま約2、3時間おいてください。
- 電池の残量が少ない、または消耗している場合は充電してください。
- 充電しても反応しない場合は、⏻ボタンを約8秒押し続けるか、RESETボタンを押して“ウォークマン”をリセットしてください。

Q タッチパネルが正常に動作しない

- 画面操作する指以外の指が画面に触れている可能性があります。操作したい場所以外に指が触れていると、正しく操作できません。操作する指以外の指が画面に触れないようにしてください。

Q “ウォークマン”がパソコンに認識されない

- 電池残量がない場合は、充電してください。
- “ウォークマン”を初めて使用するまたは、長期間使用していなかった場合は、充電などで“ウォークマン”をパソコンに接続しても認識されるまで数分必要です。パソコンと“ウォークマン”を接続してから約10分後に、パソコンが“ウォークマン”を認識するか確認してください。
- USBケーブルがパソコンにしっかり接続されているか確認してください。
- 同梱のUSBケーブルを使用してください。
- USBハブを使用していると、表示されない場合があります。パソコンのUSBコネクターに直接接続してください。
- USB接続がオフになっている可能性があります。“ウォークマン”がMSCモードの場合は、ステータスバーをドラッグして、通知パネルで[USBストレージをONにする]をタップし、[USBストレージをONにする]-[ON]をタップしてください。
- 機器やソフトによっては、USBデバッグが有効になっていると“ウォークマン”を認識しない場合があります。 - [設定] - [{ }開発者向けオプション] - [USBデバッグ]をタップして、チェックマークをはずしてください。
- 上記に当てはまらない場合は⏻ボタンを約8秒押し続けるか、RESETボタンを押して“ウォークマン”をリセットしてからUSB接続をし直してください。

その他

Q “ウォークマン”本体が熱くなる

- “ウォークマン”の充電中やアプリの実行中は、電気エネルギーの一部が熱に変換され“ウォークマン”本体に伝わるため温かくなりますが、異常ではありません。手で触れないほど熱くなったときは、“ウォークマン”の電源を切って使用を中止し、本体の点検･修理をご依頼ください。

初期化する

Google アカウントやダウンロードしたアプリケーションなどのデータを削除して、“ウォークマン”をお買い上げ時の状態に戻します。

1 ホーム画面で をタップし、[設定]-[バックアップとリセット]-[データの初期化]-[端末をリセット]をタップする。

転送した音楽や写真を消去するには、[USBストレージ内データの消去]をタップしてチェックマークをつけてください。

2 [すべて消去]をタップする。

初期化が開始され、自動的に再起動します。

ご注意

- [USBストレージ内データの消去]をタップしてチェックマークをつけると、お客様が転送した音楽や写真、ご購入時に格納されているコンテンツ、および“ウォークマン”本体メモリー内にあるパソコンにインストールするSetup.exeファイルが消去されます。再提供のサービスは行っておりませんのでご注意ください。初期化する前に、パソコンでデータをバックアップすることをおすすめします。

保証書とアフターサービス

保証書

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お買い上げ店でお受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保管してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを

「困ったときは」(☞ 49 ページ)をもう一度ご覧になってお調べください。

それでも具合の悪いときはサービスへ

ソニーの相談窓口またはお買い上げ店、お近くのソニーサービスステーションにご相談ください。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

部品の保有期間について

当社では、デジタルメディアプレーヤーの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後6年間保有しています。

ただし、故障の状況その他の事情により、修理に代えて製品交換をする場合がありますのでご了承ください。

主な仕様

再生できるファイルの種類

ミュージック		
音声圧縮形式（コーデック）	MP3	ビットレート：32 ～ 320 kbps（可変ビットレート（VBR）対応） サンプリング周波数*1：32、44.1、48 kHz
	WMA*2	ビットレート：5 ～ 384 kbps（可変ビットレート（VBR）対応） サンプリング周波数*1：8 ～ 48 kHz
	ATRAC	ビットレート：48 ～ 352 kbps（66、105、132 kbpsはATRAC3） サンプリング周波数*1：44.1 kHz
	ATRAC Advanced Lossless*3	ビットレート：64 ～ 352 kbps（132 kbpsはATRAC3 base layer） サンプリング周波数*1：44.1 kHz
	FLAC	量子化ビット数:16、24bit サンプリング周波数*1：8、11.025、12、16、22.05、24、32、44.1、48、88.2、96、176.4、192 kHz
	リニアPCM	量子化ビット数:16、24bit サンプリング周波数*1：8、11.025、12、16、22.05、24、32、44.1、48、88.2、96、176.4、192 kHz
	AAC*2	ビットレート：16 ～ 320 kbps（可変ビットレート（VBR）対応）*4 サンプリング周波数*1：8、11.025、12、16、22.05、24、32、44.1、48 kHz

音声圧縮形式（コーデック）	HE-AAC	ビットレート：32 ～ 144 kbps（可変ビットレート（VBR）対応）*4 サンプリング周波数*1：8、11.025、12、16、22.05、24、32、44.1、48 kHz
	Apple Lossless	量子化ビット数：16、24 bit サンプリング周波数*1：8、11.025、12、16、22.05、24、32、44.1、48、88.2、96、176.4、192 kHz
	AIFF	量子化ビット数:16、24bit サンプリング周波数*1：8、11.025、12、16、22.05、24、32、44.1、48、88.2、96、176.4、192 kHz
ビデオ		
ビデオ圧縮形式（コーデック）	AVC（H.264/AVC）	ファイルフォーマット：MP4ファイルフォーマット、メモリースティックビデオフォーマット 拡張子：.mp4、.m4v プロファイル：Baseline Profile/Main Profile/High Profile レベル：4 ビットレート：最大20 Mbps フレーム数:最大30 fps 解像度:最大 1920×1080*5
	MPEG-4	ファイルフォーマット：MP4ファイルフォーマット、メモリースティックビデオフォーマット 拡張子：.mp4、.m4v プロファイル：Simple Profile/Advanced Simple Profile ビットレート：最大20 Mbps フレーム数：最大30 fps 解像度：最大 1920×1080*5

	Windows Media Video 9	ファイルフォーマット:ASFファイルフォーマット 拡張子:.wmv ビットレート:最大20 Mbps フレーム数:最大30 fps 解像度:最大 1920×1080*5
音声圧縮形式（コーデック）	AAC-LC（AVC、MPEG-4用）	ビットレート:32 ～ 144 kbps(可変ビットレート(VBR)対応)*4 サンプリング周波数*1:8、11.025、12、16、22.05、24、32、44.1、48 kHz
	WMA（Windows Media Video 9用）	ビットレート:5 ～ 384 kbps(可変ビットレート(VBR)対応) サンプリング周波数*1:8 ～ 48 kHz
フォト*6		
フォト圧縮形式（コーデック）	JPEG	DCF 2.0/Exif 2.21のファイルフォーマットに準拠 拡張子:.jpg、jpeg JPEG(Baseline) 画素数:最大 6,048×4,032 ピクセル(24,385,536画素)
	PNG	拡張子:.png 画素数:最大 2,048×2,048 ピクセル(4,194,304 画素)

ブルーレイディスク／DVDレコーダーの「おでかけ転送」機能に対応
(対応機器について詳しくは、“ウォークマン”カスタマーサポートのホームページをご覧ください。)

*1 すべてのエンコーダーに対応しているわけではありません。

*2 著作権保護されたファイルは再生できません。

*3 ATRAC Advanced Losslessのビットレート表記は、ATRAC対応機器·メディアに高速転送可能なコンテンツのビットレートを意味します。

*4 サンプリング周波数によっては規格外および保証外の数値も含みます。

*5 再生可能な解像度を示すものであって、本製品で表示できるピクセル数を示すものではありません。

*6 データの種類によっては表示できないものがあります。

記録できる最大曲数と時間の目安について

1曲4分のMP3形式の曲だけを転送·録音した場合で計算しています。他の再生できる音楽ファイル形式では、増減する可能性があります。

最大記録曲数

	NW-F885	NW-F886	NW-F887
	16 GB	32 GB	64 GB
128 kbps	3,200曲	7,200曲	15,000曲
1,411 kbps(リニアPCM)	290曲	650曲	1,300曲

最大記録時間

	NW-F885	NW-F886	NW-F887
	16 GB	32 GB	64 GB
128 kbps	約213時間20分	約480時間00分	約1000時間00分
1,411 kbps(リニアPCM)	約19時間20分	約43時間20分	約86時間40分

記録できるビデオファイルの最大時間の目安について

本製品にビデオのみを転送した場合で計算しています。使用状況によっては増減する可能性があります。

	NW-F885	NW-F886	NW-F887
	16 GB	32 GB	64 GB
V:384 kbps M:128 kbps	約49時間00分	約108時間40分	約228時間00分

V:映像のビットレート

M:音声のビットレート

プラットフォーム

Android™ Version 4.1

ディスプレイ

サイズ／解像度：4.0型（10.2 cm）、FWVGA（854×480ドット）
パネル種類：TFTカラー液晶
静電容量式タッチパネル

インターフェース

USB：Hi-speed USB（USB 2.0準拠）
ヘッドホン：ステレオミニ
WM-PORT：マルチ接続端子22ピン

FMラジオ

放送受信周波数：76.0 ～ 108.0 MHz
アンテナ：ヘッドホンコードアンテナ

ワイヤレスLAN

- 規格：IEEE 802.11 a/b/g/n
- 使用周波数帯域：2.4/5 GHz帯
- 暗号化：WEP/WPA/WPA2
- 変調フォーマット：DSSS方式/CCK方式/OFDM方式

Bluetooth

- 通信方式：Bluetooth標準規格 Ver3.0
- 使用周波数帯域：2.4GHz帯（2.4000 GHz - 2.4835 GHz）
- 変調方式：FHSS
- 対応Bluetoothプロファイル*1
  - A2DP（Advanced Audio Distribution Profile）
  - AVRCP（Audio Video Remote Control Profile）
  - OPP（Object Push Profile）
  - HID（Human Interface Device）
- 対応コーデック*2：SBC*3

*[1] Bluetoothプロファイルとは、Bluetooth機器の特性ごとに機能を標準化したものです。

*[2] 音声圧縮変換方式のこと

*[3] Subband Codecの略

内蔵センサー

- GPSレシーバー
- 加速度センサー

スピーカー

内蔵モノラル

マイク

内蔵モノラル

ヘッドホン出力

周波数特性：20 ～ 40,000 Hz

高音質化技術

- デジタルノイズキャンセリング機能対応（総騒音抑制量（TNSR）：17 dB*[1]）
- ClearAudio+
- イコライザー
- クリアベース
- サラウンド（VPT）
- DSEE（高音域補完）
- ダイナミックノーマライザー
- クリアステレオ
- Clear Phase
- xLoud
- 13.5mm EXヘッドホン

*[1] 当社規定の航空機シミュレートノイズ下における、［環境選択］を［航空機］に設定時とヘッドホン非装着時との比較による値。総騒音抑制量（当社測定法による）約17 dBは音のエネルギーで約98.0%の騒音低減に相当。

電源

- 内蔵リチウムイオン充電式電池使用
- USB電源（同梱のUSBケーブルを接続して、パソコンから供給）

充電時間

パソコンのUSBコネクタから充電の場合

約3時間（満充電）、約1.5時間（約80%まで充電）

電池持続時間

設定により電池の持続時間は異なります。持続時間は以下の各設定にして連続再生をしたときの目安です。再生待機状態でもわずかながら電池を消耗しているため、再生待機状態が長時間あった場合には持続時間は短くなります。また、音量や使用状況、周囲の温度によっても持続時間は異なります。

ミュージック	ノイズキャンセリング		Bluetooth
	ON	OFF	ON
MP3 128kbps	約33時間	約35時間	約24時間
リニアPCM 1411kbps	約34時間	約37時間	約25時間
FLAC 96kHz/24bit	約24時間	約26時間	約16時間
FLAC 192kHz/24bit	約16時間	約17時間	約7時間

ビデオ	ノイズキャンセリング		Bluetooth
	ON	OFF	ON
MPEG-4 384kbps	約5時間	約5時間	約5時間

FMラジオ	ノイズキャンセリング	
	ON	OFF
放送受信時	約25時間	約26時間

ダイレクト録音	
MP3 128kbps	約5時間

本製品の設定と電池持続時間について

設定		お買い上げ時の設定	電池持続時間での設定
画面の明るさ	輝度設定*1	―	デフォルト
音質設定	Clear Audio+*2	OFF	OFF
	イコライザー*3	OFF	OFF
	サラウンド(VPT)*3	OFF	OFF
	DSEE(高音域補完)*3	OFF	OFF
	ダイナミックノーマライザー*3	OFF	OFF
	クリアステレオ*3	OFF	OFF
	Clear Phase*3 ヘッドホン	OFF	OFF
	xLOUD*3 内蔵スピーカー	ON	OFF
	Clear Phase*3 内蔵スピーカー	ON	OFF

*1 最大輝度に設定している場合、デフォルトの場合と比較して、約25%電池持続時間が短くなります。

*2 [ON]に設定している場合、[OFF]の場合と比較して、約45%電池持続時間が短くなります。

*3 イコライザー[OFF]以外、サラウンド(VPT)[OFF]以外、DSEE[ON]、ダイナミックノーマライザー[ON]、クリアステレオ[ON]、Clear Phase[ON]、xLOUD[ON]に設定している場合、すべて[OFF]の場合と比較して、約60%電池持続時間が短くなります。

動作温度

5 ℃～ 35 ℃

外形寸法

最大突起部含まない寸法(幅／高さ／奥行き):
約58.7 × 約116 × 約8.2 mm
最大外形寸法(幅／高さ／奥行き):
約59.9 × 約116.6 × 約8.5 mm

質量

約103 g

容量

	NW-F885	NW-F886	NW-F887
	16 GB	32 GB	64 GB
ユーザー使用可能領域*1	約12.0 GB＝ 12,929,662,976バイト	約26.5 GB＝ 28,560,130,048バイト	約55.7 GB＝ 59,821,031,424バイト
アプリケーション領域*2	約1.00 GB 1,073,741,824バイト	約1.00 GB 1,073,741,824バイト	約1.00 GB 1,073,741,824バイト

*1 本製品では、メモリーの一部をデータ管理領域として使用しているため、ユーザー使用可能領域は一般的な容量表示とは異なります。

*2 出荷時にプリインストールされているアプリケーションが使用している領域を含みます。

本製品の動作環境

– Windows® XP Home Edition（Service Pack 3以降）
– Windows® XP Professional（Service Pack 3以降）
– Windows Vista® Home Basic（Service Pack 2以降）
– Windows Vista® Home Premium（Service Pack 2以降）
– Windows Vista® Business（Service Pack 2以降）
– Windows Vista® Ultimate（Service Pack 2以降）
– Windows® 7 Starter（Service Pack 1以降）
– Windows® 7 Home Premium（Service Pack 1以降）
– Windows® 7 Professional（Service Pack 1以降）
– Windows® 7 Ultimate（Service Pack 1以降）
– Windows® 8
– Windows® 8 Pro
– Mac OS® X v10.6以降

Windows VistaおよびWindows 7の「XP互換モード」には非対応。

標準インストールのみ。

Windows XP Professional x64 Editionは非対応。

- CPU：1 GHz以上（ビデオ再生は2.6 GHz以上推奨）
- メモリー：1 GB以上（Windows 8 64ビットは2 GB以上推奨）
- ハードディスクドライブ（HDD）／ソリッドステートドライブ（SSD）：空き容量600 MB以上（1.5 GB以上を推奨）

OSのバージョンによってはそれ以上の容量を使用する場合があります。また、音楽やビデオ、フォトなどのコンテンツを扱うための空き容量がさらに必要です。
音楽CDの楽曲を取り込む場合にはCD-ROMドライブが必要です。

- Internet Explorer Ver. 7以上
- インターネット接続環境

Gracenoteサービスや音楽配信サービスなどのWebサービスを利用する場合にインターネットへの接続が必要です。

以下のシステム環境での動作保証はいたしません。

- 自作パソコン
- 標準インストールされているOSから他のOSへのアップグレード環境
- マルチブート環境

本製品の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

索引

【ア】

インストール 17
主な仕様 56

【カ】

各部の名前 18
画面 24

【サ】

サポートホームページ 7
充電する 13
初期化 53
ストラップ取り付け口 20

【タ】

タッチパネル 25
電源 22
同梱品 11

【ハ】

ヘッドホンジャック 19
ヘルプガイド 6

【G】

Google アカウント 34

【N】

NFC 33

【R】

RESET(リセット)ボタン 20

【V】

VOL+/ーボタン 20

【W】

Wi-Fi 31
WM-PORTジャック 19

お問い合わせの前に

以下の方法ですぐに症状が解決されることがありますので、以下のチェックリストをお試しください。

□ “ウォークマン”をリセットしても、症状が改善しませんでしたか？

□ “ウォークマン”を充電しても、症状が改善しませんでしたか？

□ 「困ったときは」(☞ 49 ページ)はご覧になりましたか？

□ 同梱の「クイックスタートガイド」はご覧になりましたか？

□ インターネットをお使いのお客様は、“ウォークマン”のサポートホームページをご覧になりましたか？

お問い合わせ窓口のご案内

- **メールでのお問い合わせは ➡ “ウォークマン”カスタマーサポートへ**
  (http://www.sony.co.jp/walkman-support/)
- **電話・FAXでのお問い合わせは ➡ ソニーの相談窓口へ**

お問い合わせの際は、次のことをお知らせください。

- 型名:“ウォークマン”本体裏面に記載
- 製造(シリアル)番号:“ウォークマン”本体裏面に記載
- ご相談内容:できるだけ詳しく
- 購入年月日
- お使いのパソコンの情報(パソコンメーカー名、パソコン型名、OSバージョン)
- その他接続にお使いの機器の情報(機器メーカー名、型名)

使いかた相談窓口、修理相談窓口は、裏面をご覧ください。 **次ページへ**